

智花「えふびーえす…かあ…。」

ミソクラスト

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

初投稿作品です。温かい目で見守ってください。

投稿は3日に1回程度かと思われまます。ご了承ください。

この作品はロウきゅーぶ！のキャラクター達が織り成す青春FPS群像劇です（大嘘）

オリキャラは出さないと思います。

原作ブレイカーというか、原作の流れ一切出てきませんが、それでもいい。という方だけお読みください。

それ以外の方はブラウザバック推奨です。

扱うFPS作品としてはOFとDESTROYが多くなると思います。COD民の方は本当にすみません。

KU○キッズではないですが、ネタで出すかもしれません。

ではよろしくお願ひしますm () m

目次

智花「えふぴーえすつてなあに？」	1
智花「おともだち…できるかな？」	4
智花「すーぱーすきるっ！」	7

智花「えふぴーえすつてなあに？」

↳放課後

真帆(以下真)「ふあゝあ…今日もやつと学校終わったー！今日はバスケないしみんなうち来る!？」

紗季(以下紗)「あんた最近授業中にくびしすぎよ。体調管理は部活が休みでもしっかりやりなさい。」

ひなた(以下ひ)「おう。ひなも眠いのです。だから今日はごめんなさい。」

愛莉(以下愛)「えへへ。真帆ちゃん誘ってくれてありがとう。でも今日はやりたいことがあるから、また今度遊びに行くね?」

智花(以下智)「誘ってくれてありがとう。でも、今日はお茶のお稽古があるから、また今度みんなで遊ぼう。」

真「なんだよ。しよーがないな。サキはどーする?」

紗「あんたと違って私は忙しいのよ。また今度にしましょう。」

真「サキもかよ。じゃあ今日は帰ってえふぴーえすでもしようかな。」

紗ひ愛「「ギクツ!!」」

智「ねえ。えふぴーえすつてなあに?」

真「お!?!もっかんもキョーミある!?!あのかな。簡単に言うとな。戦争するゲームかな。」

紗「もう。それじゃ伝わらないでしょ。仕方ないなあ。智花。FP S っていうのは First Person Shooter と言って、一人称視点で銃を撃つたりするゲームのことよ」

智「一人称ってなんなの?」

紗「例えばマ○オとかだと、操作キャラを自分が俯瞰しながら操作するでしょ。でも一人称視点だと、そのキャラからの視点になるのよ。」

智「そうなんだー。でも、子供は銃を撃っちゃいけないんじゃないの?」

愛「それは…ゲームだから大丈夫だよ!」

真「なんだ〜。サキもアイリーンもくわしいじゃん！なんでなんだ〜？」

紗「!?これくらい常識よ。」

愛「わ、わたしは、お兄ちゃんがやってるのを見たから！」

智「えふぴーえす…かあ…」

ひ「おー。智花もやる？ひなもやってるよ。」

智「え!?ひなたもやってるんだあ〜。じゃあわたしも今日パソコンで調べてみるね。」

ひ「おー。それがいい。」

〜湊家〜

忍「智花。今日の稽古は終わりだ。お風呂に入って、ある程度の時間には寝なさい。」

智「はい。ありがとうございます」

携帯「We're unripe fighter♪」

智「あ、メールだ。誰からだろう…？ふええ！すばるさんからだー！昂メール「智花くんばんは。突然で悪いけど、親父とNBA観戦ツアーに2週間行くことになった。だから悪いけど2週間朝の練習と部活はお休みしてください。ミホ姉には伝えておいたから、明日みんなに伝えておいてください。あ、でもうちの母さんは智花が朝ご飯食べに来てくれるだけでも嬉しいって言ってたぞ。じゃあ、また2週間後にね。お土産買ってくるからね。愛してるぞ（キリッ）」

智「ふえええ！すばるふあん…。でも、部活お休みなのか…。何しようかな…。」

花織（以下花）「智花。お風呂できたわよ〜。先入っちゃいなさい。あら？なんでそんなに顔が赤いの？熱かしら…。」

智「ち、ち、違うよお母さん！もう、わかったから！大丈夫だから！」

花「あら？そう？じゃあ昂君によろしくね〜。」

智「!?だ、だだから！違うって！」

花「はいはい〜。」

〜入浴（©REC）〜

智「寝るにはまだ早いかな…。あ、じゃあ今日真帆が言ってたえふぴーえすつてやつを調べてみよう！」

パソコンカタカタ

智「えーと…ばとる〇いーるど？こーる〇ぶでゆーてい？でいす〇いにー？いろいろあるんだなあ…。どれかYouTubeで見てもみよう。じゃあ…DESTI〇Yつと…。」

パソコン「暗黒がくくく」

智「すごい綺麗な映像だなあ…このB〇つてやつも調べてみよう…。わあ、プレイ動画がたくさんだ！この<JSよだピンの神凸砂>つて動画すごい再生数だなあ。見てみよう」

パソコン（よだピン）「おー。今日は、凸砂でやって行きたいと思います。あんまり喋らないけど、よろしくね。お兄ちゃん。くくく（中略）くくくおー。今日もキルレ3越えました。みんなまたねくばいばーい。」

智「なんか凄すぎて何が起こってるかわからなかった…。でも、この手元の動画見る限りわたしと同じくらいの年齢の子なのかな…すごいなあ。あ、もう寝る時間だ。明日また調べてみよう。」

智花「おともだち…できるかな？」

（翌日）

智「あのね。昨日帰ってからえふぴーえすについて調べただけど、YouTubeでいろいろ動画見てみたよ！よだピンさんって人がすごく上手だったんだー！」

真紗愛「「ピクッ！」」

真「へー、そ、そうなんだ。 （前レ○プされたからチーターってファンメ送ったら手元動画晒してきた人だ…）」

紗「で、智花もやってみる？FPS。」

智「うーん…うちにPS4もパソコンもあるからやってみようかな…。」

愛「どのゲームをやるの？智花ちゃんと一緒にやってみたいなあ」

智「んー…とりあえず今日また調べて、気になったやつをネットで買うよ」

ひ「なにに。なんのはなしですか。ひなもいれてください。」

真「もっかんがどのFPSをやるかって話！ヒナはどーおもう？」

ひ「おく。ひなはDESTROYがいいと思う。」

智「あ、昨日動画見たやつだ。わかった。今日注文してみるね」

真「その必要はない！こんなこともあるかと、すべてのソフトを2本買っていたのだ！では、これをもっかんにあげよう！」

愛「わー。智花ちゃんよかったね！」

智「ええ！そんな、悪いよ。」

紗「こうなったら真帆は譲らないから、一応受け取っておいた方がいいと思うわ…。」

智「ありがとう真帆。今日やってみるね！」

真「おう！やってみたら感想聞かせてね！」

智「ありがとう。あ、みんな話すの忘れてたけど、昴さんはアメリカにNBA観戦ツアーに行くから2週間部活お休みにするって。」

ひ「おく。お兄ちゃんうらやましい。ひなもしっかりお休みします。（今日もJS6MAHOMAHOとかいう人ボロクソにしよ）」

愛「えへへ。自主トレしながら、適度に休もうかな。(トレーニング終わったら即FPS)」

紗「仕方ないか…。私も新作お好み焼きの研究でもしますか。(FPSやり放題じゃないの)」

真「おーし！帰ったらまたFPSしよー！」

竹中(以下竹)「真帆、お前FPSなんてやるのか？ちなみになんのタイトルだ？」

真「お！ナツヒもFPSやるのか？じゃあ今日家でやろーよ！」

竹「いいけど…タイトルを教えろよ。」

真「んー…基本的にはB○だけど、一通りなんでも揃ってるよ！」

竹「じゃあCODでI o n i やろうぜ。ボロクソにしてやるよ。」

真「なにをー！のぞむところだ！ナツヒ、早く行くぞ！みんなまた明日ねーノシ」

智紗愛ひ「ばいばい…」

紗「じゃあ、私たちも帰りましょうか。」

く湊家く

智「これでよし。あ、なんか始まった…。」

ゴースト(以下ゴ)「ガーディアンくくくくく」

智「うわあー…綺麗な画質だなあ…。でも人がいなさそう…うわ。いきなり真っ暗になった！…あ、ここに銃がある！いきなり敵が出てきそうだよ…」

智「わわわ！いきなりなんか出てきた！あれ？なんか黄色い数字が出て敵が倒れちゃった…どうしたんだろう？(ちなみにDESTROYではダメージ表示が出ます。プリセットならHSの場合は黄色、BSの場合は白でダメージ表記され、すぐにHSかBSがわかるようになっていきます。)」

智「あれ？なんか青いモヤモヤを纏った敵が出てきた…撃つてもダメージ入らないな…。あ！シールドなのかな…。ええ…とグレネード！L2！」

ドガン

智「ふー。やっとクリアだよ…。次は対人戦のクルーシブルって

やつをやってみようかな…。」

智花「すーぱーすぎる?。」

保存日時:2016年05月03日(火) 16:01

智「クルーシブルにもたくさんモードがあるんだなあ:なんだろうこれ:?:コントロール?(一般的なドミネーション)まずこれが一番左にあるからこれからやってみようかな!」ポチッ!

智「わわ!なんか船が飛んでいっちゃったよお。始まるのかな?。」

ーコントロール。ブラボーチームー

智「あ、これは「ビー」チームじゃなくて、「ブラボー」チームっていうんだ:。あ、相手はアルファチームだ。どうするんだろう:。とりあえず、この「JS6」Bus ty」さんについていこう。」

JS6「Bus tyのVC(以下VC)「あ、あー。聞こえてますか?みなさん。とりあえず落ち着いてCを制圧しましょう。6人のうち2人はBに向かつてください。」

智「わわ!なんか声が聞こえる:。あ、ぼいすちやつとつていう機能なんだ。ボイスチェンジャーを使ってるからかな?ワイドショーで違法行為を取材されてモザイクがかかっている人みたいな声になっている。あ、このCつていう旗の近くにいると制圧できるんだ。あ、ポイント入った!」

VC「C制圧お疲れ様です。私スナなんで、みなさんBに攻めてください。私はAからくる敵を防ぎます。では、解散で」

智「あれ?みんなBの方に行っちゃった。私はこの人について行くって決めたし:どうしようかな?あ!敵が来た!えっと:うーん。えい!」グレ足元にポイツ

ドガン

智「あれ?あれ?なんかダメージ受けたのかな:?:でも敵はJS6「Bus tyさんが倒してくれたんだ。わあ。強いなあ。」

VC「おい。トモつてやつ。聞こえてるか?聞こえてるなら挨拶しろ」

智「あれ?私のことかな?挨拶:どうやってやるんだろう?。」

VC「まさか初心者か？まあ、レベル4ならありえるか。左の十字ボタン押してみろ。どれでもいい。」

智「この人さっきの感じからいきなり強くなったなあ。私に怒ってるのかな？とりあえず上ボタン押してみよう。」

I t o m o | h a s e g a w a が挨拶をしているー

VC「初心者か。なら邪魔だからすつこんでろ。邪魔すんじゃないよ。相手にはBL | O k o n o m i y a k i がいるんだからな。あいつにスナで勝つのは至難の技だぜ。テメエがチームに迷惑かけんじやねえよ」

智「ええ！怒られちゃったよお。どうしようかな…。とりあえずスナイパーに持ち替えて…。」

I B L | O k o n o m i y a k i が5連続キル！ー

智「さっき言ってた人本当に強いんだなあ…。あ、敵が来た！えいっ！（スナでHS）あれ？…当たったのかな？あ、ポイント入ってる！しかもBL | O k o n o m i y a k i さん倒したんだ！やったー！」

VC「おい。お前やるじやねえか。さつさと全然押し上げる」

智「押し上げる…？…って前に行けばいいのかな？わわ、敵が2人いる！AR（オートライフル…他のゲームのアサルトとほぼ同じ）に持ち替えて、えい！あ、やった！2人とも倒せた！次はどうす…」グ
シャツ

ーガーディアンが倒されたー

智「あれ!?倒されちゃった…あんなところから!?BL | O k o n o m i y a k i さんか…。これ倒されたらどうすればいいんだろう？あ、□ボタンかな。」リスポーン

VC「おい。B取られてんぞ！早くとり返せ！」

智「あ、スーパースキル？が溜まったみたい…。スナイパーで行こうかな。わわ！敵が2人もいる。えい！えい！やった！2人ともHSだ！あれ？撃たれてる!?あ、BL | O k o n o m i y a k i さんだ！まず隠れて…うわわわ、グレネード投げ込んできたよお。上手だなあ。ジャンプで回避して、どこらへんにいるだろうな…ここは一か八か飛び出して撃とう！」

VC「BL|Okonomiyakiすげースコップ覗いてるぞ、光ってる。とりあえず飛び出すなら、ジャンプしながら飛び出せ」

智「ジャンプしながら…。そうすると狙いにくいからか。よし、ジャンプ！そして…。えい！（ジャンプしながらスナでHS）やった！倒した！」

ーヘビーウエポンはもうすぐだ！ー

VC「スーパ―溜まってるやつは相手のヘビー潰しに行け！スーパ―で殲滅しろ！」

智「ヘビーつてなんだろう…。？とりあえずJS6さんは相手の方に走って行ったから、私もそっちに行こうかな！」

VC「やばい！あいつらヘビーのところにドーンウオードのバリア張ってやがる！tomo！私がスーパ―であのバリア消し去るから、お前はスーパ―でできるだけ多くの敵を倒せ！」

智「なんか…。紫色の透明なバリアみたいなのにみんな入ってる…。とりあえずJS6さんが言う通りに待ってようかな」

VC「よし。じゃあ私がノヴァボム投げたらすぐスーパ―発動して、ノヴァボム着弾したらすぐ3人倒せ！いくぞ！」

キューン…。ドガン！

智「よし！スーパ―発動！3人を…。1。2。3！よし！3人倒した！あとはオートライフで残りを…。あれ？もうJS6さんが全員倒してくれたみたい！」

ーtomo|hasegawaが5連続キル！ー

VC「おい。お前初心者なのにやるじゃん！ナイスだぞ！ここまで攻め込むと、次敵がCに湧くから、こっちのヘビーも取っちゃおう！ーヘビーウエポンが届いたぞ！ー

智「やった！マシンガン？の弾もらえた！A「制圧つと…。あ、相手がC取ろうとしている！けど向こうにいる味方もヘビー持つてるしなあ。勝ち目ないだろうなあ。」

VC「おいtomo！3点取りはやめろ！相手のリスポン位置固定できなくなるから！Aからすぐ離れてCに戻れ！」

智「ふえ？取れば取るほどいいんじゃないのかなあ…。？でもJS6

さんが言うならやめておこう。」

くそれから時は流れく

智「やったー！勝ったー！終わってみれば20030VS1307
5の圧勝だね！」

VC「tomo！フレンド申請送るから、よかつたら承認してね！」

智「フレンド申請ってなんだろう…？あ、メッセージが来た！あれ
？2つも来てる…？1つは、JS6さんからで、もう1つは、BL
Okonomiyakiさんからだ！なんだろう…？」

BL「Okonomiyaki「あなたレベルの割に強いよね。
チートですか？もしそうなら通報させていただきますが、そのような
感じが見受けられませんでした。この先また戦うことがあればよろ
しくお願ひします。また、よかつたらフレンド登録しておいてくださ
い。」

智「んー…とこれは褒められてるのかな？私の成績は…25キル7
デス！2位だ！JS6は40キル5デスかあ…BLさんは…32キ
ル6デス！負けたチームなのにすごいなあ…。あ、り、が、と、う、ご、
ざ、い、ま、すつと！フレンド登録もしておこう！」

智「ふー疲れた！また明日学校でみんなに話してみよう！じゃあ、
今日は寝ようかな！」